

学校名	白兎養護学校
取組の名称	教職員と連携した取組
1	ねらい 教職員が連携して、児童生徒の食に関する興味関心を高め、健康的な食生活の実践につなげる。
2	具体的な取組内容
(1)	給食時間における担任等と連携した指導 給食時間に栄養教諭が教室を巡回し、給食に使用されている食材の紹介や、クイズを行った。巡回できない学級でも、担任等が給食を活用して指導できるよう、献立名と一言メッセージが書かれた「今日の献立」を用意し、校内のパソコンやタブレット端末からいつでも見られるようにした。児童生徒による献立紹介や、楽しいメニューの発表など、各学級の朝学活等で活用されている様子も多く見られた。
	  
(2)	教科等における担任等と連携した指導
健康な食生活（高等部・家庭総合）	家庭科教諭と連携し、栄養素の働きや、組み合わせについて学習をした。学習のまとめでは、生徒それぞれが1食分の献立を作成した。作成した献立は給食で提供し、実際に食べたり、他の生徒や職員から感想を聞いたりして、学びを深められるようにした。
おやつについて考えよう（中学部・保健体育）	清涼飲料水を作る実習を通して、清涼飲料水に含まれる砂糖の量がわかるようにした。砂糖の量の多さを実感できている生徒が多く見られた。また、おやつのパッケージに記載されている栄養表示の見方について確認し、適量を考えておやつを選択する力を身に付けられるようにした。学習の後には、おやつを食べる前に栄養表示を見る習慣ができた生徒も見られた。
学校給食週間のおはなし（小学部・学部集会）	学校給食週間にあわせて、給食に使われている調理器具を用いて、給食作りについて紹介した。また、食べ物の3つの働きを劇で紹介し、苦手な食べ物でも食べてみようとする意欲につなげられるようにした。
委員会活動	給食委員会では、給食を残さず食べてもらうことを目標として活動した。全校児童生徒を対象に苦手な食べ物のアンケートを実施し、回答が多かった「野菜」「きのこ」「魚」などに関するポスター作成と
	   

掲示を行った。その他にも、毎日の給食献立と食材カードの掲示を行った。また、給食調理員さんへの感謝状を作成し、全校からの感謝の気持ちを伝えた。

「わたしのだいすき！げんきおしる」を考えよう

食への興味関心を高めることをねらいとし、全校児童生徒を対象に元気になれるお汁のアイデアを募集した。「白鬼のご縁汁」や「栄養満点みそ汁」など、児童生徒が学習した内容を活かしたお汁のアイデアも見られた。集まったアイデアの中からいくつかは給食で提供し、全校で味わった。



(3) 司書との連携

校内行事（地引き網）に合わせた鳥取県の魚のレプリカと本の展示や、図書館まつりコラボ給食などを実施した。牛乳が苦手な児童生徒が多いことから、牛乳やカルシウムに関する本などを掲示し、啓発を行った。また、全校児童生徒を対象に募集した「わたしのだいすき！げんきおしる」の作品を料理の本などと合わせて展示し、実生活へつながるように工夫した。



(4) 食に関する教職員研修

校内で教職員を対象に食に関する指導についての研修を行った。偏食がある児童生徒への対応や、栄養教諭と連携した個別的な相談指導の実践等について、参加した教職員との意見交換を行い、校内における食育の更なる充実を図った。



3 成果と課題

「今日の献立」が活用され、教職員アンケートの「給食時間における食育を位置づけた指導の実施」に対する肯定的な回答が53%（R5年度）から80%（R7年度）に増加した。また、給食の巡回指導では、苦手な食材にチャレンジする姿が見られるなど、継続した指導の成果も見られた。

引き続き教職員と連携し、食に関する指導の全体計画の評価・改善・次年度へ向けた計画などについて、共通理解を図ることが重要である。また、児童生徒が健康的な食生活を築いていくためには、保護者との連携が不可欠である。保護者へのアプローチも含め、個別的な相談指導を充実させていくことが必要である。